職場環境を全く新しい

ものに変える

London Borough of Southwark

英国の地方行政機関であるLondon Borough of Southwark(ロンドン・サザーク自治区)は、Windows 10とMicrosoft Office 365を搭載したLenovo ThinkPad X390ノートPC群を駆使して、従業員がいつでもどこでも生産的に業務を遂行できる環境を整備しています。この職場環境構築プロジェクトにより、ザサーク自治区はコロナ禍後の危機下でもスムーズにリモート就業体制に移行することに成功しました。この新しい職場環境は、今後も従業員の就業意欲と業務効率に長期的なプラスの影響をもたらすでしょう。



1

London Borough of Southwarkとは?

ロンドン・サザーク自治区は英国の地方行政機関で、首都ロンドンの南部の一画のエリアで行政 サービスを提供しています。提供サービスは、住民向け公共住宅の提供、ゴミ収集、区税徴収、 教育、図書館、各種社会サービス、都市計画、消費者保護、各種許認可の発行、墓地・火葬場の 運営などを含みます。



2

抱えていた課題

自治区機能のスムーズな運営のため、自治区政府は4,500名の多様なプロフィールの職員を雇用して行政サービスにあたっています。市民が行政サービスに期待するレベルが上がる一方で予算は縮小されていく中、自治区政府は常にオペレーションを最適化するための手段を模索しています。彼らは、職員の能力を最大限に引き出すためには思い切った改革が必要であるとの認識の下で、理想的な職場環境の構築に着手しました。



「あらゆる企業や団体と同様に、我々の最も貴重な資産はその職員です。職員のサポートと管理に投資することは、必ずサザーク自治区の住民に利益をもたらすはずです。その信念を胸に、私たちは「より公正な未来」をテーマにした職場戦略を策定し、モビリティ・生産性・コラボレーションをコアバリューとする取り組みを開始したのです」

Dionne Lowndes氏



サザーク自治区政府は、職員を自治区庁舎内の決められた 席から解放することで効率を高めコラボレーションを推進 できることに気付きました。今あるスペースを有効活用し、 移動中でも作業が可能なツールを職員に配備することは、 庁舎建屋の利用方法の合理化にもつながります。

またこうしたアプローチは、職員同士がより緊密に連携してプロジェクトに取り組むことを可能にします。こうしてサザーク自治区政府は、自分たちのビジョンを実現するためのテクノロジーの選定作業に着手しました。

レノボを選んだ理由

やがて自治区政府は、自分たちが目指す新しい職場環境の構築にはレノボのテクノロジーの導入が理想的であるとの結論に達しました。チームは複数のモデルの概念実証トライアルを経て、最終的にLenovo ThinkPad X390ノートPCの導入を決定しました。

「レノボのテクノロジー採用を決定した理由としては、その信頼性と魅力的な価格体系が大きなポイントでした。自治区の職員の多くはこれまでにもレノボのソリューションを使用した経験があり、いずれもその利用体験に満足していました。Lenovo ThinkPad X390ノートPCは、軽量で持ち運び易く、バッテリー駆動時間が長いことから私たちにとって最適のデバイスです」とサザーク自治区のテクノロジー改革リーダーであるDarryl Durno氏は語ります。



壁を打ち破る

LenovoのプラチナパートナーであるXMAを調達 プロバイダーとして、サザーク自治区はこれまで に従業員向けノートPCおよそ3,000台を導入して います。

それと併行して、自治区政府はWindows 10へのアップグレードを実行し、現在Microsoft Offce 365を運用しています。さらに新しいデバイス向けセキュリティソリューションとしてAbsolute Softwareを採用し、盗難が報告されたりジオフェンス外に持ち出されたデバイスを直ちにリモートロック若しくはワイプ(リセット)できる体制を整備しています。

ハードウェア

Lenovo ThinkPad X390

ソフトウェア

Absolute Software Microsoft Office 365 Microsoft Windows 10



世界規模のCOVID-19パンデミック対策としてロックダウン措置が導入され、自治区の技術サービス部門は緊急にリモートワーク体制を稼働開始する必要に迫られました。

前述のDarryl Durno氏は次のように語ります。

「ロックダウン規制が施行されたとき、私たちはちょうどリモート体制の構築に着手したところでした。 ロックダウンに対応するため職員にすぐに新しいレノボのノートPCを配備する必要が生じたため、12か 月のタイムラインで計画していたスタッフに対する対面トレーニングを全面的に見直しました。我々の チームは昼夜休みなく作業してノートPC群にMicrosoftの最新ソフトウェアを設定し、まずエッセンシャ ルワーカー向けに500台のデバイスを支給しました」



「その後数週間以内に、全体の3分の1の職員の自宅にノートPCを発送しました。我ながら、皆よくやったと思います」

Darryl Durno氏



結果

現在、サザーク自治区の職員はいつでもどこでも、自分の好きな場所と方法で業務に取り組むことができます。これにより、生産性が大幅にアップするとともに職員の満足度が大きく向上しました。サザーク自治区の職場改革プロジェクトは、コロナ禍によるオペレーションへの影響を軽減し、住民向けサービスの混乱を最小限に留めることに貢献しました。

「私たちはレノボのテクノロジーを活用して、職員が自宅でも移動中でも自由に仕事ができる体制を整備しています。システムユーザーからのフィードバックも非常にポジティブなものです。以前使用していた最も古いワークステーションではログインできるまでに最大45分の待ち時間がありましたが、いまはほぼ瞬時にログインを完了できます」とDarryl Durno氏が語ります。



「コロナ禍は私たちにとって変化のきっかけとなりました。リモートワークに必要な優れたツールが全ての職員に配備されるに従い、職場改革について最も懐疑的であった職員でさえも積極的にリモートワークを支持するようになりました。今後長期的には、この職場改革は私たち職員の仕事と生活のバランスをより良いものとする一方で、住民へのより優れたサービスの提供につながると信じています」

Darryl Durno氏



サザーク自治区内のあらゆる場所で業務に携わる現場職員も、レノボの新しいテクノロジーのメリットを享受しています。例えばソーシャルワーカーはこれまで在宅や入院中の人を訪問する際に手書きで必要な情報を記録し、庁舎に帰ってからそれをタイピングし直してシステムに入力していました。今は現場でそのままLenovo ThinkPadに情報を入力することができます。

またコミュニティサービスに携わる職員は、移動中 や次の訪問までの空き時間に自治区のシステムにロ グインし、Microsoft TeamsやYammerで同僚とコ ミュニケーションすることができます。 17.6時間 バッテリー駆動

13インチ ディスプレイ

✓ 1.22kg 軽量&ポータブル

未来へのビジョン

サザーク自治区は現在、コロナ禍後の新たな自治区庁舎の活用方法を模索して手おり、その一環として、Lenovo ThinkVision P27hドッキングステーション設置キットおよびドッキングステーション本体の導入による庁舎内でのホットデスキングシステムの構築を進めています。

「レノボのドッキングステーションがあれば、職員はどのデスクでも自分のThinkPadをP27hにつないでシームレスに作業を進めることができます。これは、庁舎スペースの活用率向上とコラボレーション推進を目指す私たちの取り組みの一つです 」とDarryl Durno氏は語ります。

今後長期的には、自治区政府はMicrosoft TeamsテレフォニーやMicrosoft Sharepointを利用したボイスオーバーIP (VoIP) などにより、デジタルおよびテクノロジー戦略を現在よりさらに進化させることを目指しています。自治区チームは、そうした取り組みにおいてもレノボのテクノロジーが彼らの心強い味方となることを確信しています。





Lenovo ThinkPad X390ノートPCは、現在および将来における私たちのテクノロジー戦略の中核を成す存在です。これらのノートPC群は私たちがコロナ禍の危機を乗り越えて、当初の計画より先に我々の能力と就業文化をそれまでとは異なる全く新しいものにグレードアップし、自治区住民向けにより良いサービスを提供することを可能にしてくれました。

Darryl Durno氏

従業員がどこにいても働ける体制を構築するには

レノボのサポートで、リモートワーク体制にシームレスに移行しましょう。

Lenovo ThinkPadを詳しく見る